

野口とおる

無所属



こんな岸和田で
いいんですか？
決めるのは
あなた!! あなたです!!

頒布責任者：瀬川 和央（岸和田市作才町 1 丁目 9-34）印刷所：株式会社夢工房（泉大津市我孫子 131）

泉北高速鉄道が和泉市で止まり、なぜ岸和田へ延伸されない。どうして？
JR 東岸和田駅に関空特急“はるか”が停車しない。どうして？
岸和田の主産業は何ですか？主産業がなくなった。どうして？
岸和田の人口が毎月減少しています。どうして？
岸和田の青少年の学力が大阪府内で最低のレベル。どうして？

ふる里・岸和田は“お城のあるまち”・“泉州の基幹都市”・
“府下 3 番目に市制施行（大正 11 年）”・“だんじり祭りは日本一”

陰げるふる里 身にしみます。しかし

わたしたちの 15 年余りのまちづくり活動及び葛城の谷の町会の皆様のご理解とご協力 JR 東岸和田駅周辺は最近賑わいを取り戻しつつあります。

祭礼時には多数のお客様（外国・国内）が来場、観光地になりつつあります。

新たな“変革の時代” 新たな“まちづくり” → 岸和田再生へ

野口とおる の挑戦はこれからも続きます。

“野口とおる”の
議員への姿勢は

- ① 納税者の代表であれ！
- ② 住民への奉仕者であれ！
- ③ 行政への協力者であれ！
- ④ オピニオンリーダーであれ！

野口とおるの15年のまちづくり活動は
岸和田まちづくり創造研究会のHPをご覧ください

岸和田ヤラカス会



野口とおるは15年のまちづくり活動の経験と実績を礎に目指します。成し遂げます。

高齢者対策。子ども・子育て対策。福祉対策。住み良いまちづくり対策。待ったなしの政策が……でも年々税収不足の現実がある。

まずは**財政立て直し**、**増収**を目指す。
基礎的財政収支の黒字化。
岸和田の**経済力アップ**、**観光産業促進**。

行政サービスをアップ

日本一の子育て教育支援政策
日本一の福祉政策

[至急する必要がある政策]

① JR東岸和田駅周辺の渋滞解消

来年 JR 東岸和田駅周辺整備が完工します。しかし、阪和線の高架が完成後利便性がアップしたことで山手側より人・車が集中し、特に朝夕又雨天時には大渋滞が周辺に発生。駅前及び駅周辺の交通動向を見直し、整備し、至急渋滞解消対策をします。

② 泉州山手線の西側(貝塚市中央線)より着工

泉州山手線が事業化されました。しかし岸和田市内はいつ着工するかは未定。貝塚市熊取町の区間は着工へ動き始めています。岸和田の西側(貝塚中央線より岸塔線まで)より着工。同時に岸和田市の都市計画道“貝塚半田流木線”“岸和田土生郷修斉線”2本を事業化。葛城の谷及び山手丘陵地域の活性化を進めます。JR 東岸和田周辺の渋滞解消にも効果的で交通がスムーズになります。

③ 流木墓地周辺の整備

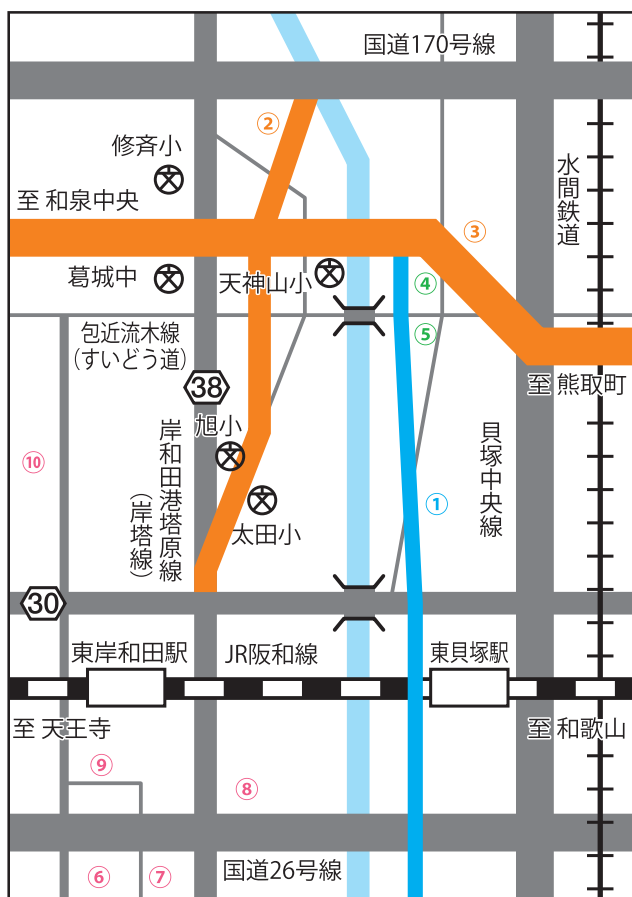
早春の桜花見のシーズンには多数の市民が来場、行楽地に。泉州山手線と都市計画道路“貝塚半田流木線”に面する流木墓地公園を多目的公園として再整備します。隣接する市立斎場の設備が老朽化し、支障をきたしているため設備の更新と南海地震が近々発生するであろう大津波・大水害に対応できる防災支援公園を同時に整えます。

④ 防災対策事業・市庁舎を山手側へ

右の略図を参照してください。国・府の出先機関・施設が R26 周辺に集中しています。理由の①は近い将来発生するであろう南海地震による大津波及び大水害対策。②岸和田市の市軸が R26 号 JR 阪和線より、すなわち浜側より山手線に移ってきた。市の“本丸”である市庁舎は防災本部として機能が発揮できるよう、市民の利便性及び、交通アクセスの良い JR 東岸和田線周辺に移設を再検討します。

⑤ 観光産業事業化推進へ

観光・サービス産業は今後成長発展します。政府・大阪府も予算を付け「力」を入れてきます。祭礼時には JR 東岸和田周辺にも内外より多数の観光客が来場しています。今秋ラグビーワールドカップ、2020 オリンピック、2025 年大阪万国博など、イベントが続きます。又 JR 岸和田駅前にシティホテルがオープンします。大阪府観光局とタイアップし、滞在型の旅行者を取り込み、裾の広い観光産業を育生し、岸和田を活性化、経済力をアップします。



- ① 貝塚半田流木線
- ② 岸和田土生郷修斉線
- ③ 泉州山手線
- ④ 岸和田市立斎場
- ⑤ 流木墓地公園
- ⑥ 岸和田警察
- ⑦ 府民センター
- ⑧ 岸和田税務署
- ⑨ ハローワーク
- ⑩ 岸和田消防本部

野口の
挑戦

<世界遺産へ“だんじり祭り岸和田”を登録へ>

今日だんじり祭り岸和田日本一の祭。世界に知れ渡り、世界の人々と交流し日本文化・岸和田文化を理解していただき、人の心の中に平和を築く橋渡しになっている。これは世界遺産ユネスコ憲章が採択された前文に合致しています。登録へわたしは活動をスタートします。世界遺産をとれば大阪府一番になります。変わります。岸和田が!!

[祭礼活動]

- 2002年 畑町曳行責任者
- 2009年 岸和田十月祭礼年番会計(担当総年番長:土生町)
- 2011年 旭・太田地区祭礼年番長(現 東岸和田祭礼年番長)

[プロフィール]

- 1949年 岸和田市畑町に生まれる
- 1972年 近畿大学商経学部卒業
建設資材商社・貿易部入社、シンガポール駐在員事務所長、香港駐在員事務所長歴任

[その他活動]

- 1970年 大阪万国博覧会(EXPO'70)に海外より来阪される外国人のお客様、旅行者の案内・通訳として参加する国際ジュニアスポーツ振興協議会設立
- 2007年 ジュニアの国際スポーツ大会を地元で開催し、青少年が将来国際的活躍のできる人づくりを目指し設立。現在国際大会開催へ準備・進行中